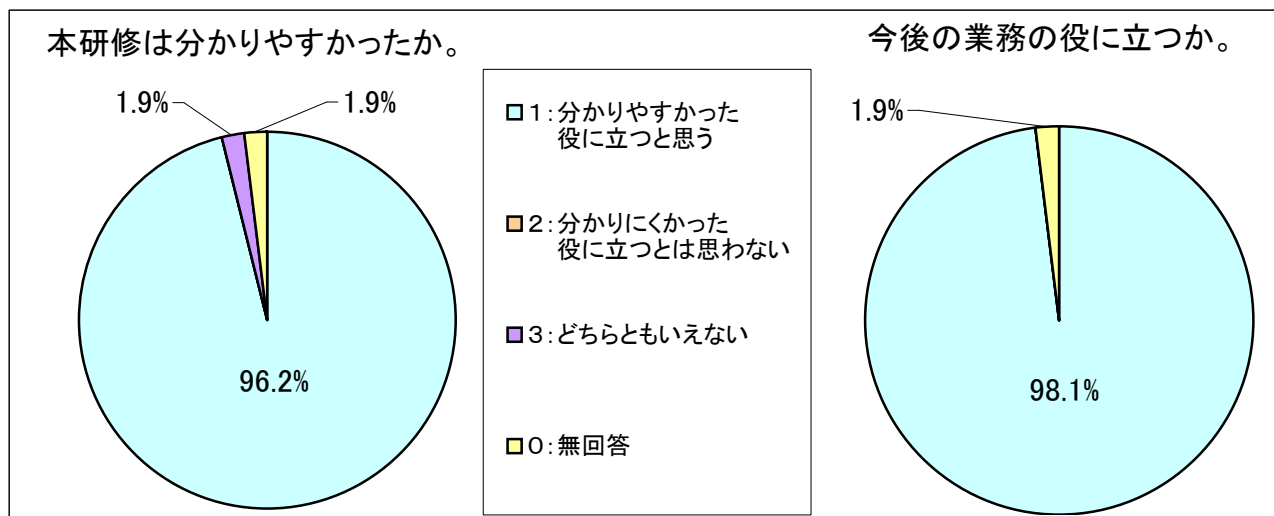
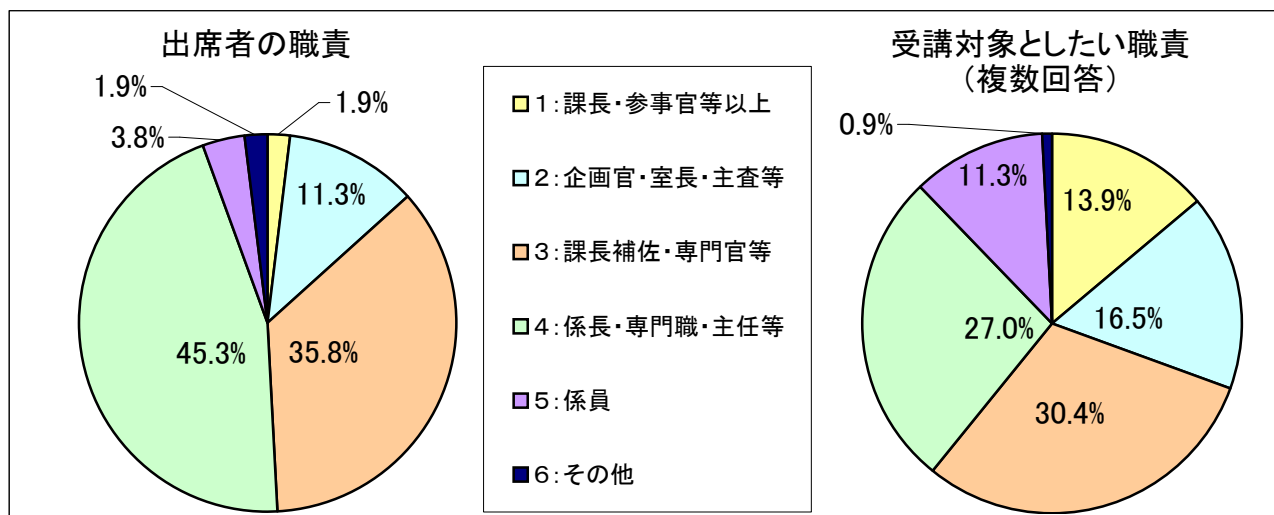


※文部科学省様で行った研修のアンケート結果を許可を得てご紹介しています。
データの集計などは文部科学省様で行われたものをそのまま掲載させていただいています。

平成20年度 文部科学省プレゼンテーション研修アンケート 結果概要

アンケート回答者数
53人



(自由回答欄の主な内容: どのような点に学びがあったか)
 ・プレゼンテーションやコミュニケーションに関する心理学的な分析やデータ、テクニックがよく分かった。
 ・聞く側の立場に立って話をするなど、相手の立場になることの重要性を感じた。
 ・プレゼンテーション技法の修得には、コミュニケーション能力が前提となることがよく分かった。
 ・実践的な内容が良かった。上達には日々の努力、意識が必要だと学んだ。

(自由回答欄の主な内容: どのようなことに活用するか)
 ・日常のコミュニケーション、職場での人間関係の維持・向上、異動時の最初のコミュニケーション
 ・打ち合わせ、上司への説明、プレゼン、研修講師、講演、司会、説明会、式典あいさつ、議員レク

(自由回答欄の主な内容: 意見・感想)
 ・もう少し時間を長くして、じっくり受けたい。実践形式で行う部分をもっと増やして欲しい。
 ・さらに少人数の実践編や応用編をして欲しい。具体的なプレゼンの方法等の研修もして欲しい。